

# さくら



令和8年3月9日(月)

## 自分だけの一皿・自分だけの一曲

「昆布出汁（だし）は美味しいよ。鰹節の出汁も、もちろん美味しい。このふたつ  
の出汁を合わせるともっと美味くなる。昔の人はよく考えたよね」

こんな話をしてくれたのは、日本料理屋のご主人でした。これを「出汁の相乗  
効果」といいます。科学的には、昆布のイノシン酸と、鰹節のグルタミン酸の  
それぞれの旨味成分が合わさると、それぞれ単独よりも格段においしく感じる  
現象です。

「一つの音を鳴らした時と、規則性のある複数の音を同時の鳴らしたときでは、  
後者の方が音の広がりができる。だから、音楽は楽しいんだよ」

こんな話をしてくれたのは、興業会社の営業マンでした。これは「和音」の  
話です。科学的には、音の周波数を一定の規則にすることで、心地よい響きや  
音に立体性を持たせることができる現象です。

料理は、さまざまな素材の組み合わせで奥深い旨さが生まれます。音楽では、  
和音やメロディーの進行、リズムが重なり合って美しい響きが創られます。

これらのことを、私たちの生活に置き換えてみましょう。多くのことを学び、  
その知識を組み合わせ、生活にいかしていく。苦手分野であってもチャレンジ  
してみる。それは生きていくための知恵となります。

また、自分と違った思考を持つさまざまな人の考えを受け入れてみる。それ  
が自分にとって都合の悪いものであったとしても、あえてアンチさえも受け入  
れることで、間違いなく思考の広がりができるはずです。

このように、さまざまなことにチャレンジしたり、さまざまな意見を受け入  
れることが、自分だけの一皿、自分だけの一曲を創ることになり、人生に広が  
りができるのです。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開して  
います。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

